

2020 年度実施概要

学校名

阪南市立舞小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名	学年	教科
「海の生きものとなかよし」	1	生活
「海辺の自然を楽しもう」	2	生活
「海藻って何だろう？」	3	総合
「海苔すき体験をしよう」	4	総合
「アマモと海の生き物にふれよう」	4・6	総合
「アマモの種を西鳥取の海に植えよう・自分たちで育てよう」	5	総合
「自分たちでワカメを育てて収穫しよう」	5	総合
「山・川・海の学習」	6	総合
「大阪湾を守るために自分たちができることを考えよう」	6	総合

取り組みの概要

阪南市立舞小学校は、運動場には山の一部やアスレチックがあり、校舎から大阪湾を望むことができる豊かな自然に囲まれた場所にある。冬になると、大阪湾で唯一行われている海苔の養殖の様子を見ることが出来る。そのような自然に恵まれた環境を生かして学校独自の海洋教育を行っている。

今年度から6年生は「山・川・海の学習」を行い、水の循環を通した山・川・海のつながりについて学習した。自分たちの身近にある山が、生き物豊かな海の環境に大きく影響していることを学ぶと共に、植物や藻類の栄養吸収の手助けをする「フルボ酸」という物質について知り、自分たちで「フルボ酸」を培養する活動を通して、水を通した「栄養の循環」に詳しく学習することができた。山に豊かな森があることが豊かな海につながるということを知り、大阪湾を守るための新たな方法について気づくことができた。

また、今年度は学校全体で海洋育の広がりを感じることもできる1年になった。正面玄関に海の活動で採った生き物を飼育して、他の学年に知らせたり、児童集会やポスターなどで自分たちの取組を伝えたりする活動を続けていく中で、学校全体で「海の活動が楽しみ」「海の環境を守りたい」という雰囲気が出てきたように思える。昨年度、「関西大学6ストロース」をお招きして、「プラスチックゴミの影響」について学んだことをきっかけに、各学年で海の活動の際に海辺のゴミ拾いを行うようにしている。子どもたち自身が自分たちの住んでいる地域の海を守るために自ら行動する姿が多くみられた。多くの人に海の環境についての意識を変えてもらいたいという思いから、GIJ(グリーンインフラジャパン)全国大会や阪南市のHPで自分たちの取組をオンラインで発表したり、阪南市長に直接伝えたりするなど、各方面に舞小学校の海洋教育について発信することができた。さらその発表を通じて、新たなつながりをつくることもできた。

今年度培った実践やつながりを生かして、来年度も海洋教育の取組を更に充実させていきたい。

活動中の写真



